

平成 23 年 11 月 2 日

裏磐梯の湖沼環境を考える会議（仮称）の設置及び

五色沼湖沼群の環境調査

磐梯山の噴火により河川が堰止められるなどして形成された五色沼湖沼群は、磐梯朝日国立公園の磐梯山の北側に位置し、多様な植物群落や湿性遷移の観察の場として、また青白色を基調とした美しい水色により、檜原湖などとともに関東平野の水辺景観を代表する景勝地であり、観光客が毎年約 190 万人（磐梯高原：北塩原村）訪れるなどしています。

しかし、近年になってコカナダモなどの外来植物、ヨシやオヒルムシロ等の繁茂、それらによる景観の悪化、さらには水色の変化の指摘など、湖沼をとりまく環境変化が懸念されています。

このような背景から、今回、関係機関が連携し、水辺の生態系や水質（水色を含みます。）に重点を置いた大規模な調査を行い、水辺の生態系や水質の現状、変化の有無及び問題点等の検討を進めることになりました。また、これらの調査結果は、今後の湖沼環境保全対策の基礎資料となるものです。

このため、下記により第 1 回目の「裏磐梯の湖沼環境を考える会議（仮称）」を開催し、午後から予備調査（現地調査）を行います。

なお、「裏磐梯の湖沼環境を考える会議（仮称）」及び「裏磐梯五色沼湖沼群の環境調査要領（案）」については、添付資料をご覧ください。

記

- 1 日時
平成 23 年 11 月 8 日（火）午前 10 時 30 分から
- 2 場所
北塩原村役場商工観光課 2 階会議室（裏磐梯合同庁舎内）
（耶麻郡北塩原村大字檜原字剣ヶ峯 1 0 9 3）
- 3 会議次第
 - (1) 裏磐梯の湖沼環境を考える会議（仮称）の設置について
 - (2) 裏磐梯五色沼湖沼群の環境調査要領（案）について
 - (3) その他

（お問い合わせ先）

共生システム理工学研究科研究プロジェクト型
実践教育推進センター

事業部長 柴崎直明 電話 024-548-8437

特任教授 佐藤一男 電話 024-548-5336